

研究協力のお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大腸 ESD における Bridge Formation Method の有用性の検討
1. 研究の対象および研究対象期間 昭和大学横浜市北部病院消化器センターに受診し、2003年9月から2021年7月に大腸腫瘍に対して内視鏡的粘膜下層剥離術を受けた患者さん。
2. 研究目的・方法 大腸腫瘍における内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)は、本邦で年間 15,000 件実施されており、早期大腸癌に対して一括切除が可能な非常に効果的な治療法であります。当消化器センターは2003年から2021年に2181症例の大腸 ESD を施行しており、非常に豊富な症例数を備えております。今回、Bridge Formation Method という新たな大腸 ESD の治療法を提案しました。従来法と治療成績に関して比較検討する計画をしました。本研究は今後の大腸 ESD 治療の発展に寄与できると考えております。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026年 6月 30日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者さんの情報(年齢・性別)、これまでにかかった病気(既往歴)や、病変情報(腫瘍の大きさ・形など)、治療情報(治療時間、病理結果など)について診療録から収集し治療成績を調査していきます。
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません
6. 研究組織 研究責任者 研究機関名 昭和大学横浜市北部病院消化器センター 氏名 阿部 正洋

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 消化器センター 氏名：阿部 正洋（研究責任者）

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎 35-1 電話番号：045-949-7000